

B U S I N E S S  
R E P O R T  
2 0 2 0

第47期 報告書

(2020年1月1日 ~ 2020年12月31日)



クリエートメディック株式会社

証券コード 5187

からだにやさしい  
未来の医療を築く





代表取締役社長 佐藤正浩

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜わり、厚く御礼申し上げます。

まず、この度の新型コロナウイルス感染症に罹患された皆様とご家族に心よりお見舞い申し上げます。医療の最前線で尽力されている医療従事者の皆様に敬意と感謝を申し上げます。

さて、当社第47期の報告書をお手元にお届けするにあたりまして、ご挨拶申し上げます。

## ■国内の経済環境と医療機器業界

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症を背景に、緊急事態宣言により経済活動が停滞し、新規感染者数の増加など将来の事態収束に見通しが立たず、先行き不透明な状況により推移をいたしました。

医療機器業界におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響が年末にかけて特に深刻化しており、重症患者用の病床逼迫や、緊急性の低い手術が延期されるなど、医療製品の需要にも影響が出ております。

## ■当連結会計年度の営業の概況と業績

このような状況のもと、当社グループは、医療現場に貢献できるよう製品の安定供給に努めることを最重要方針とし、従業員の安全確保と感染防止対策を徹底し、事業を進めてまいりました。

連結業績につきましては、自社販売および海外販売が、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、手術等の延期や営業活動を一時的に自粛したことにより、売上高が僅かに減少となりました。

利益面では、営業活動の自粛や学会・展示会の中止により費用が減少したものの、自社販売および海外販売における売上総利益の減少分が費用の減少を上回ったことにより、営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益は減少となりました。

これらの結果、当連結会計年度の経営成績は、売上高10,830百万円（前期比0.1%減）、営業利益984百万円（前期比9.1%減）、経常利益952百万円（前期比10.6%減）、親会社株主に帰属する当期純利益659百万円（前期比9.0%減）となりました。

次に売上の概況を販売形態別にご報告いたします。

自社販売は、新型コロナウイルス感染症の感染対策として、医療機関への訪問規制や活動の制約等もありましたが、6月以降はWEB会議を活用しつつ段階的な営業活動の再開に努めてまいりました。

このような状況のもと、泌尿器系製品のフォーリートレイキットや尿管ステントが堅調な伸びとなり、消化器系の新製品「大腸・胃十二指腸用ステント『NEXENT（ネクセント）』」も売上に寄与しましたが、消化器系製品のイレウスチューブや胃瘻造設術関連製品が新型コロナウイルス感染症の影響で手術件数が減少したことなどにより、売上高6,640百万円（前期比0.1%減）となりました。

なお、当連結会計年度の新製品につきましては、消化器系製品の「大腸・胃十二指腸用ステント」、呼吸器系製品の「トラキオストミーチューブ二重管タイプ」、消化器系製品の「胃瘻造設キット『フェイスルPEGキット』」および「交換用カテーテル『フェイスルボタン』」を発売しており、次期以降の売上に寄与するものと期待をしております。

海外販売は、輸出販売が欧州向けの泌尿器系製品を中心に好調を維持しましたが、中国販売におきまして新型コロナウイルス感染症により営業活動の一時的な自粛や手術等の延期の影響を受けたことにより、売上高2,943百万円（前期比1.8%減）となりました。

OEM販売は、新型コロナウイルス感染症の影響により血管系製品が減少したものの、消化器系や看護・検査系ほかの新製品が売上に寄与したことで、売上高1,245百万円（前期比3.7%増）となりました。

## ■対処すべき課題

今後の医療機器業界におきましては、新型コロナウイルス感染症が先行き不透明な状況であり、医療機関への訪問規制や活動制限、手術件数の減少等の影響が続くものと見込まれます。

このような状況のもと、2021年12月期の業績予想につきましては、自社販売では泌尿器系製品および消化器系製品の拡販と当期の新製品による販売伸長を目指してまいります。

また、海外販売は中国市場における売上回復と輸出の拡大を目指してまいります。

一方、利益面では、生産工場の在庫調整による操業度低下の影響や、東南アジア等の新市場開拓や欧州医療機器規則に係る準備費用、基幹システム構築の償却費もコスト負担となり、利益は大幅に減少するものと見込んでおります。

品質面では、グループ全体の品質管理体制の一段の強化に努め、一層の安全性の向上とともにユーザーの利便性向上に努めてまいります。

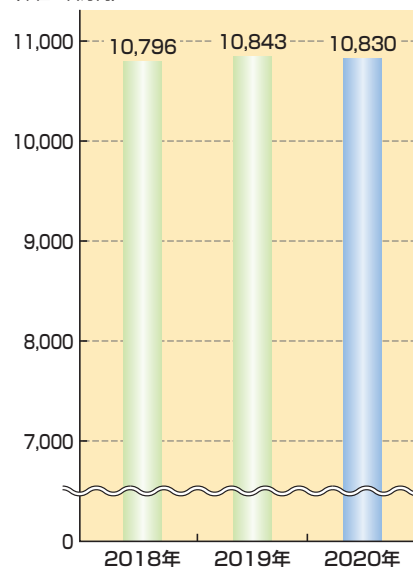
当社グループは利益還元を経営の重要施策と位置付け、今後の収益力向上のために内部留保による経営基盤の強化を図りつつ、安定的かつ継続的な配当を実施してまいり所存であります。

今後の業績向上に全社一丸となり邁進いたす決意でありますので、株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

# 業績の推移

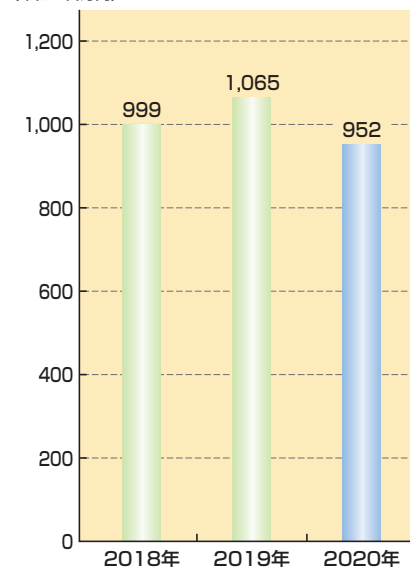
## [売上高]

(単位：百万円)



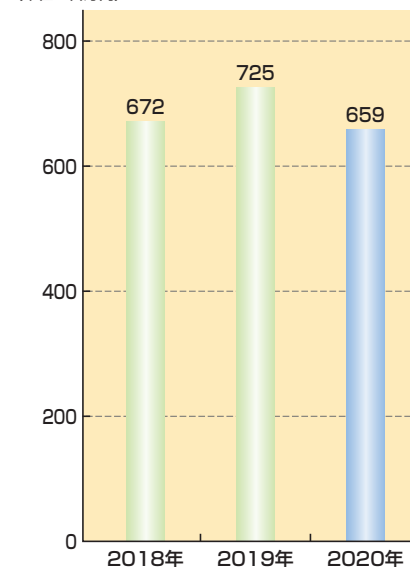
## [経常利益]

(単位：百万円)



## [親会社株主に帰属する当期純利益]

(単位：百万円)



区 分	2018年 (第45期)	2019年 (第46期)	2020年 (第47期)
売 上 高 (百万円)	10,796	10,843	10,830
経 常 利 益 (百万円)	999	1,065	952
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	672	725	659
総 資 産 (百万円)	17,237	17,157	17,097
純 資 産 (百万円)	12,886	13,175	13,227
フリーキャッシュ・フロー (百万円)	199	368	544
1 株 当 たり 当 期 純 利 益 (円)	72.20	77.83	71.19
1 株 当 たり 純 資 産 額 (円)	1,383.31	1,414.36	1,454.41
1 株 当 たり 配 当 金 (円)	37	37	37

(注) フリーキャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローおよび投資活動によるキャッシュ・フローの合計額を表示しております。

# 連結財務諸表

## ■連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	期別	第47期 (2020年12月31日現在)	第46期 (2019年12月31日現在)
		金額	金額
<b>(資産の部)</b>			
流動資産		10,722	11,129
現金及び預金		3,973	4,330
受取手形及び売掛金		2,245	2,326
電子記録債権		1,130	1,076
商品及び製品		1,711	1,637
仕掛品		717	739
原材料及び貯蔵品		676	648
その他		269	371
貸倒引当金		△1	△1
固定資産		6,374	6,028
有形固定資産		4,989	5,152
建物及び構築物		2,532	2,683
機械装置及び運搬具		385	394
土地		1,658	1,658
建設仮勘定		44	63
その他		368	353
無形固定資産		436	234
借地権		144	153
その他		292	81
投資その他の資産		948	641
投資有価証券		550	260
繰延税金資産		332	332
その他		65	48
資産合計		17,097	17,157

- (注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。  
2. 有形固定資産の減価償却累計額 5,393百万円

科目	期別	第47期 (2020年12月31日現在)	第46期 (2019年12月31日現在)
		金額	金額
<b>(負債の部)</b>			
流動負債		2,583	2,651
支払手形及び買掛金		473	569
電子記録債務		290	102
短期借入金		800	900
1年内返済予定の長期借入金		92	166
未払法人税等		88	107
賞与引当金		49	44
役員賞与引当金		17	19
その他		771	741
固定負債		1,286	1,330
長期借入金		-	92
退職給付に係る負債		1,192	1,123
資産除去債務		3	3
長期未払金		71	78
その他		18	33
負債合計		3,869	3,982
<b>(純資産の部)</b>			
株主資本		13,041	12,948
資本金		1,461	1,461
資本剰余金		1,486	1,486
利益剰余金		10,607	10,292
自己株式		△513	△291
その他の包括利益累計額		186	226
その他有価証券評価差額金		12	30
為替換算調整勘定		262	277
退職給付に係る調整累計額		△88	△81
純資産合計		13,227	13,175
負債・純資産合計		17,097	17,157

### POINT

#### 自己株式(△513百万円)

経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を遂行するため、株式会社22万株、取得総額222百万円の自己株式取得を実施いたしました。

## ■連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	第47期	第46期
		(2020年1月1日~ 2020年12月31日)	(2019年1月1日~ 2019年12月31日)
		金 額	金 額
売 上 高		10,830	10,843
売 上 原 価		5,752	5,615
売 上 総 利 益		5,077	5,228
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		4,092	4,144
営 業 利 益		984	1,083
営 業 外 収 益		43	42
営 業 外 費 用		75	60
経 常 利 益		952	1,065
特 別 利 益		48	35
特 別 損 失		17	-
税金等調整前当期純利益		984	1,101
法人税、住民税及び事業税		313	399
法人税等調整額		11	△22
当 期 純 利 益		659	725
親会社株主に帰属する当期純利益		659	725

- (注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。  
2. 1株当たり当期純利益(期中平均発行済株式数による)71円19銭

## ■連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	第47期	第46期
		(2020年1月1日~ 2020年12月31日)	(2019年1月1日~ 2019年12月31日)
		金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー		1,249	880
投資活動によるキャッシュ・フロー		△704	△511
財務活動によるキャッシュ・フロー		△845	△532
現金及び現金同等物に係る換算差額		△42	△39
現金及び現金同等物の増減額		△343	△203
現金及び現金同等物の期首残高		3,426	3,629
現金及び現金同等物の期末残高		3,083	3,426

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## ■連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度(2020年1月1日~2020年12月31日)

(単位：百万円)

	株 主 資 本					その他の包括利益累計額					純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付 に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当 期 首 残 高	1,461	1,486	10,292	△291	12,948	30	277	△81	226	13,175	
当 期 変 動 額											
剰 余 金 の 配 当			△344		△344					△344	
親会社株主に帰属する当期純利益			659		659					659	
自 己 株 式 の 取 得				△222	△222					△222	
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						△17	△14	△7	△39	△39	
当 期 変 動 額 合 計	-	-	314	△222	92	△17	△14	△7	△39	52	
当 期 末 残 高	1,461	1,486	10,607	△513	13,041	12	262	△88	186	13,227	

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 個別財務諸表（要旨）

## ■貸借対照表

（単位：百万円）

科目	期別	第47期 (2020年12月31日現在)	第46期 (2019年12月31日現在)
		金額	金額
（資産の部）			
流動資産		7,251	8,005
固定資産		6,082	5,638
有形固定資産		3,138	3,192
無形固定資産		287	73
投資その他の資産		2,656	2,372
資産合計		13,334	13,644
（負債の部）			
流動負債		2,143	2,259
固定負債		1,097	1,136
負債合計		3,240	3,395
（純資産の部）			
株主資本		10,080	10,218
資本金		1,461	1,461
資本剰余金		1,486	1,486
利益剰余金		7,646	7,561
自己株式		△513	△291
評価・換算差額等		12	30
その他有価証券評価差額金		12	30
純資産合計		10,093	10,248
負債・純資産合計		13,334	13,644

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## ■損益計算書

（単位：百万円）

科目	期別	第47期 (2020年1月1日～ 2020年12月31日)	第46期 (2019年1月1日～ 2019年12月31日)
		金額	金額
売上高		9,077	9,189
売上原価		5,451	5,456
売上総利益		3,625	3,733
販売費及び一般管理費		3,492	3,539
営業利益		132	194
営業外収益		463	367
営業外費用		49	40
経常利益		547	522
特別損失		17	1
税引前当期純利益		529	520
法人税、住民税及び事業税		92	137
法人税等調整額		7	△46
当期純利益		429	429

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## ■株主資本等変動計算書

当事業年度（2020年1月1日～2020年12月31日）

（単位：百万円）

	株主資本								評価・換算差額等		純資産 合計
	資本金	資本 剰余金 資本 準備金	利益 準備金	利益剰余金			自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・換 算差額等 合計	
				その他利益剰余金 別途 積立金	繰越利益 剰余金	利益 剰余金 合計					
当期首残高	1,461	1,486	150	4,900	2,511	7,561	△291	10,218	30	30	10,248
当期変動額											
剰余金の配当					△344	△344		△344			△344
当期純利益					429	429		429			429
自己株式の取得							△222	△222			△222
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）									△17	△17	△17
当期変動額合計	-	-	-	-	85	85	△222	△137	△17	△17	△155
当期末残高	1,461	1,486	150	4,900	2,596	7,646	△513	10,080	12	12	10,093

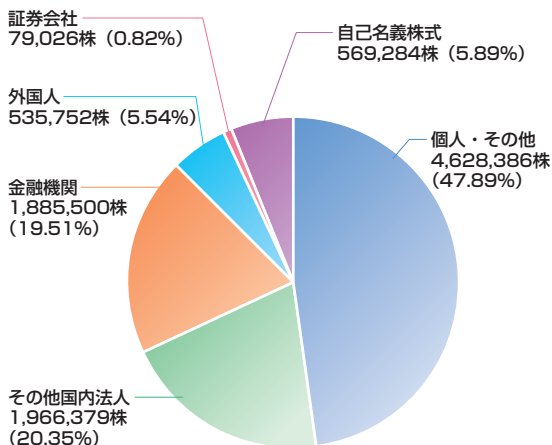
（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。



## 株式の状況 (2020年12月31日現在)

- 発行可能株式総数 30,000,000株
- 発行済株式の総数 9,664,327株
- 株主数 5,300名

### 株式分布状況



## 役員 (2021年3月30日現在)

代表取締役社長	佐藤正浩
代表取締役専務執行役員	谷口英彦
取締役会長	吉野周三
取締役常務執行役員	赤岡洋三
取締役執行役員	藍純男
取締役執行役員	遠藤晋一
取締役執行役員	秋元克也
取締役常勤監査等委員	橋井敦
取締役監査等委員	原田彰 (社外取締役)
取締役監査等委員	磯貝和敏 (社外取締役)
取締役監査等委員	日暮良一 (社外取締役)

## 会社の概要 (2020年12月31日現在)

- 本社所在地 〒224-0037 横浜市都筑区茅ヶ崎南二丁目5番25号
- 設立 1974年8月12日
- 資本金 1,461,735,390円
- 事業所 北海道工場、水戸事業所、研究開発センター、12営業拠点（札幌、盛岡、仙台、さいたま、東京、多摩、千葉、神奈川、名古屋、大阪、広島、福岡）

(注) 鹿児島出張所は営業体制の効率化を目的に管轄テリトリーを福岡支店に移管し、2020年6月30日をもって閉鎖いたしました。

- 連結子会社 大連クリエート医療製品有限公司  
クリエート国際貿易（大連）有限公司  
九州クリエートメディック株式会社  
ベトナムクリエートメディック有限会社

(注) ベトナムクリエートメディック国際貿易有限会社は、2020年10月29日付で清算いたしました。

# 製品紹介

クリエートメディックでは、安全性が高く、違和感や苦痛が少ない素材であるシリコンを用いた製品を幅広く取り扱っています。また、高度な技術を背景に医師や看護師など医療従事者とともに、医療現場の様々なニーズを取り込んだ製品開発をおこない、患者さんのQOL（Quality of life）の向上を目指しています。

## 泌尿器系



### 留置導尿関連製品

全身麻酔による手術後など排尿が困難な場合に、尿道からカテーテルを挿入して膀胱内の尿を排出します。また、持続的な排尿が可能です。



### 腎瘻（じんろう）造設術関連製品

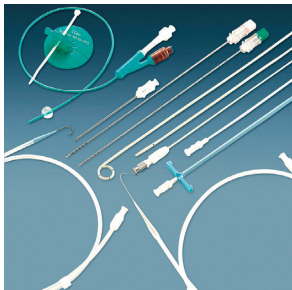
尿管の通過障害による腎後性腎不全などのときに、経皮的に腎臓にカテーテルを留置し排尿することを目的とします。



### 自己導尿関連製品

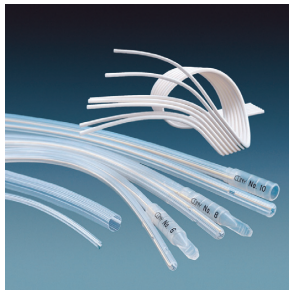
排尿障害などを起こした場合に、患者さん自らまたは介護の方が一定時間毎に尿道にカテーテルを挿入して排尿するためのカテーテルです。

## 外科系



### PTCD関連製品

胆管や胆嚢にたまった胆汁を経皮的に排出するキットで、手技に必要な器具が滅菌済トレイに入っています。また、確実性の高い穿刺を可能とする超音波穿刺針を用いて、経皮的にカテーテルを留置します。



### ドレーンチューブ

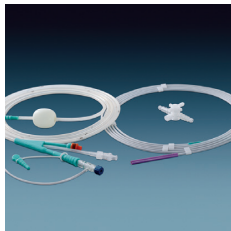
手術後の傷口などにたまった血液や尿などを、外に排出するためのドレーンチューブです。ドレーンから排泄される体液の色や状態をチェックすることで、術後の経過や異常を発見することができます。



### 腹腔鏡下内視鏡手術用製品

より低侵襲を追求した細径の鉗子で、開腹することなく腹腔鏡下で手術をおこなう際に使用します。

## 消化器系



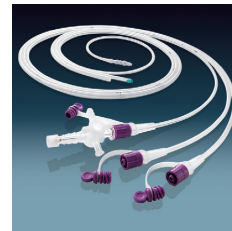
### イレウス関連製品

イレウス（腸閉塞）の患者さんに、鼻または肛門からカテーテルを挿入して、腸内にたまった内容物を吸引・減圧するために使用します。また、挿入したカテーテルに造影剤を入れ、患部の造影をおこないます。



### 胃瘻（いろう）造設術関連製品

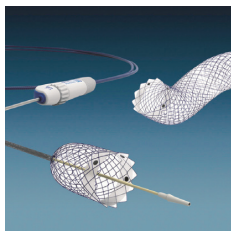
脳血管障害などで自発的に栄養を摂取できないときに、経皮的に胃にカテーテルを挿入して栄養を投与します。



### 栄養投与関連製品

開口障害や全身衰弱が著しく食物の摂取が不可能なときに、鼻から胃内や腸に挿入して栄養投与をおこなうものです。

## 麻酔・呼吸器系



### 大腸ステント

悪性腫瘍により消化管が閉塞した患者さんへ使用します。留置後はステントの自己拡張機能により閉塞が解除されます。



### 麻酔関連製品

術後や末期がんの患者さんなどの「疼痛管理」に使用される携帯型ディスポーザブル注入ポンプです。注入量は長時間使用しても安定しており、術後の患者さんの痛みを和らげる短期的な使用に威力を発揮します。



### 呼吸器関連製品

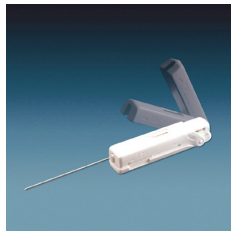
気道の確保が必要で気管挿管が困難な患者さんに、気管とその上部の皮膚を切開して挿入する気管切開チューブです。

## 看護・検査系ほか



### 看護関連製品

あらゆる尿路ストマー装置や、尿失禁用カテーテルに接続することができ、大腿部・下腿部に固定することで、無理なく社会生活をおくることが可能です。



### 生検針

生体から細胞・組織を針を刺して採取したり、吸引して採取する針です。

## 株主メモ

- **事業年度** 毎年1月1日から12月31日まで
- **定時株主総会** 毎年3月下旬
- **定時株主総会の基準日**  
**期末配当の基準日** 毎年12月31日
- **中間配当の基準日** 毎年6月30日
- **公告方法** 電子公告といたします。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告による公告をすることができない場合の公告方法は、日本経済新聞に掲載する方法といたします。
- **株主名簿管理人**  
**(特別口座の口座管理機関)** 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社
- **郵便物送付先**  
**(電話照会先)** 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
電話0120-782-031 (フリーダイヤル)

### (お知らせ)

- ・ **住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について**  
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。  
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- ・ **未払配当金の支払について**  
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- ・ **「配当金計算書」について**  
配当金の支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。  
なお、株式数比例配分方式をご指定いただいております株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にておこなわれます。確定申告をおこなう際の添付書類につきましては、お取引の証券会社等へご確認ください。



クリエートメディック株式会社

本 社

〒224-0037 横浜市都筑区茅ヶ崎南二丁目5番25号

TEL (045) 943-2611 URL <https://www.createmedic.co.jp>